

対象事業の政策・施策体系について

1. 審査会対象事業

事業名		担当部署名	
所蔵美術作品展		文化観光局文化部文化課	
政策・施策体系での位置づけ			
政策名	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	施策名	文化芸術活動の振興

2. 「堺市マスタープラン」における「文化芸術活動の振興」に対する考え方

■ 現状と課題

文化は、人々に感動や生きる喜びをもたらし、豊かな人間性の涵養に不可欠なもので、市民が心豊かな暮らしができるまちづくりを進めるためには、市民の文化芸術活動の裾野を広げていくことが重要です。

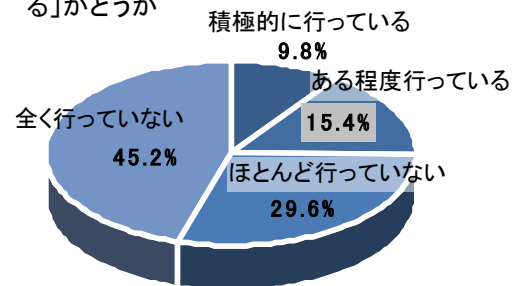
市民意識調査によると、「生涯学習や文化活動に取り組んでいる」人の割合や「堺は文化芸術活動をしやすいまちである」と答えた人の割合は、高いとは言えない状況です。

このことから、文化を創造し享受する主体は市民との視点に立ち、市民文化活動の一層の促進をはじめ、市民の芸術鑑賞機会の拡充、将来性のある芸術家の発掘育成や次世代を担う子どもに対する文化芸術体験活動の充実など、市民が身近に文化芸術に触れる環境づくりが求められています。

また、市民に優れた舞台芸術や美術などに触れる機会を提供するとともに、堺の文化を内外へ発信することができる、文化芸術活動の中核となる施設の整備が課題となっています。

市民の文化芸術活動への取組

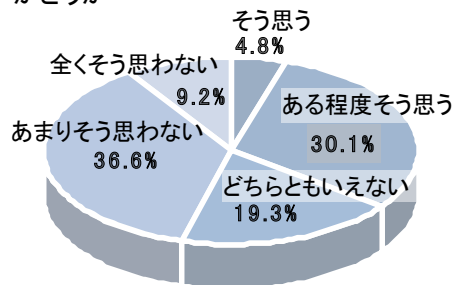
「生涯学習や文化活動に取り組んでいる」かどうか



資料：堺市平成22年度市民意識調査結果

文化芸術活動に関する市民の意識

「堺は文化芸術活動をしやすいまちである」かどうか



資料：堺市平成22年度市民意識調査結果

■ 施策展開の方向性

市民が多様な文化芸術活動を主体的に行える環境づくりを進めるとともに、文化芸術活動の中核的な役割を持つ文化施設の整備を進めます。

■ 成果指標

指標	現状値	目標値
「文化芸術活動をしやすいまちである」と答えた人の割合 (「そう思う」+「ある程度そう思う」の計)	34.9% (平成22年7月)	70%
市内文化施設の利用者数	877,630人/年 (平成21年度)	1,000,000人/年

平成24年度 事務事業総点検シート(1)

事業番号	I-3	事務事業名	所蔵美術作品展				
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化	課 作成担当者	四方

事業計画 (Plan)	1	評価体系での位置づけ	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します			
		施策	2	文化芸術活動の振興				
		細施策	1	文化芸術の振興				
		再掲(政策・施策・細施策番号)						
	2	事業期間	開始	開始 H 11 年度 ~ 終了 年度 (終期を定めていない場合は開始年度のみ)				
	3	法定自治区分	全部自治事務			4	マスタープランの掲載	有
	5	根拠法令	文化芸術振興基本法			6	関連計画	堺市文化芸術推進プラン
	7	事業の背景 (実施の経緯)	堺市では文化芸術振興のため、これまで堺を中心とする関西圏における近現代作家の作品等を収集している。市民に身近な場所で、市が所蔵するこれらの美術作品の鑑賞機会を提供するため、市内文化施設において展覧会を開催している。					
	8	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民をはじめ全国の美術愛好家					
	9	事業の目的 (どんな状況にしたいのか)	所蔵美術作品を有効活用した展示会開催により、市民に郷土ゆかりの芸術家の作品に触れる機会を提供するとともに、文化芸術に関する知識や理解を深めてもらうことを目的とする。					
	10	事業の内容 (どうやって)	所蔵美術作品を展示・公開する展覧会を、市内文化施設において開催する。					
11	事業の実施方法 ※複数選択可能	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 貸付				
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他()				
	直接実施以外の支出先	会場設営・撤去、会場監視ほか						

		項目	単位	H21年度決算	H22年度決算	H23年度決算	H24年度予算
12	主な事業費内訳	事業費 (a)	千円	5,159	4,683	5,052	6,760
		会場設営・運営費	千円	2,609	2,989	2,377	3,084
		会場使用料	千円	1,153	973	1,324	1,322
		その他経費(広告料、印刷物作成費等)	千円	1,397	721	1,351	2,354
13	財源内訳	国・府支出金	千円				
		市債	千円				
		一般財源	千円	5,159	4,683	5,052	6,760
		その他()	千円				
13	職員数内訳	人件費 (b)	千円	5,100	4,250	3,400	3,320
		正規職員従事者数(常勤再任用職員含む)	人	0.6	0.5	0.4	0.4
		任期付短時間職員従事者数	人				
		再任用短時間職員従事者数	人				
		再雇用職員従事者数	人				
		非常勤職員従事者数(再雇用含まず)	人				
		短期臨時職員従事者数	人				
人材派遣労働者数	人						
14	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	10,259	8,933	8,452	10,080	
15	対象者(利用者)数 (d)	人	1,850	2,336	3,355	3,000	
16	単位あたりコスト (e)= (c)/(d)	千円	6	4	3	3	

平成24年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	所蔵美術作品展						
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化	課 作成担当者	四方

17	評価指標 (実績)	指標名	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
		メディア(新聞・雑誌等)掲載件数	件	目標	5	10	15	25
				実績	8	7	24	/
				達成率	160%	70%	160%	/
		指標設定の考え方・算出方法・計算式など		新聞、雑誌、インターネット上への展覧会情報の掲載				
		指標名	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
				目標				
				実績				
				達成率	%	%	%	/
		指標設定の考え方・算出方法・計算式など						
【その他】 ※数値以外の実績があればご記入ください。								

18	成果指標	指標名	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
		所蔵美術作品展来場者数(堺市立文化館ギャラリー)	人	目標	1,500	2,000	3,000	3,400
				実績	1,850	2,336	3,355	/
				達成率	123%	117%	112%	/
		指標設定の考え方・算出方法・計算式など		受付カウント				
		指標名	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
				目標				
				実績				
				達成率	%	%	%	/
		指標設定の考え方・算出方法・計算式など						
【その他】 ※数値以外の成果があればご記入ください。								

19	事業の振り返り (Check)	①公益性					
		(対象者)	(必要性)	(判断理由・根拠)			
		<input checked="" type="checkbox"/> 不特定多数の市民を対象としたサービスの提供 <input type="checkbox"/> 中間的なサービス <input type="checkbox"/> 特定少数の市民又は団体等を対象としたサービスの提供	<input type="checkbox"/> 市民生活に必要な不可欠なサービス <input checked="" type="checkbox"/> 中間的なサービス <input type="checkbox"/> 市民が必要とするサービス	市の文化的資源である所蔵美術作品を活用し、市民に郷土ゆかりの芸術家の作品に触れられる機会を提供することは、「歴史文化のまち・堺」の魅力創出と情報発信強化にも寄与するものである。			
		②市の関与の合理性					
		市の関与の妥当性の程度	(判断理由・根拠)				
		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低	所蔵美術作品の約6割は、作家や遺族等の関係者から、堺市の文化芸術の向上に資することを目的に寄贈されたものである。これら作品を市民の貴重な財産として活用し、市民に芸術鑑賞の機会を提供する。				
		③市民ニーズとの合致性					
		市民ニーズの把握	(把握方法・把握していない理由)				
		<input checked="" type="checkbox"/> 把握している <input type="checkbox"/> 把握していない	所蔵美術作品展の来場者に対して、アンケートを実施している。				
		④政策・施策に対する目的適合性					
目的適合性について	(判断理由・根拠)						
<input checked="" type="checkbox"/> 目的適合性がある <input type="checkbox"/> 目的適合性がない	文化の持つ「生活に潤いや充実感をもたらす」効果に着目すると同時に、文化を創造し享受する担い手は市民であるという視点から、所蔵美術作品を広く一般に展示公開することで、市民誰もが身近に文化芸術に触れ親しむ機会を提供する。また、このことは重要施策「誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちの実現」に合致するものである。						
⑤事務事業開始時と現在の状況の変化							
時代適合性について	(判断理由・根拠)						
<input checked="" type="checkbox"/> 適合性がある <input type="checkbox"/> 適合性がない	その時々々の時宜に応じた企画内容にするため、所蔵美術作品に、作家関係者や美術館等の借用作品を加えるなど工夫をしている。						

平成24年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	所蔵美術作品展							
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化	課	作成担当者	四方

有効性・費用対効果の点検	20	①サービス水準の妥当性	(高水準のサービスが必要な理由、低水準の場合はその理由)
		<input type="checkbox"/> 国の基準(他政令市の水準)を上回るサービス水準 <input type="checkbox"/> 国の基準(他政令市の水準)と同程度のサービス水準 <input checked="" type="checkbox"/> 国の基準(他政令市の水準)を下回るサービス水準	政令指定都市等の市立美術館では、数千点以上の収蔵品を有し系統的なコレクション構築を図り、それらを活用した年間数回のコレクション展の開催をはじめ教育普及活動など、市民が芸術に触れられる多様なプログラムを実施している。
		②成果(活動)指標の達成状況	(左記結果となった理由)
		<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った(指標に改善傾向が見られる) <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った(指標に改善傾向が見られない)	メディアへの働きかけを積極的に行い、広報を充実することによって、来場者数を増やすきっかけとなった。
		③類似事業との統合	(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)
		<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能	
		④受益者(サービスを受ける側)負担の妥当性	(判断理由)
		負担を求める必要性	企画展の規模や内容によって、負担を求めるかの検討が必要。
		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見直しの必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

事業の振り返り(Check)	21	比較参考値 (政令指定都市の状況、国等の基準との比較等)	【政令指定都市の状況】			
			堺市	所蔵美術作品展	浜松市	浜松市美術館
			札幌市	札幌芸術の森美術館、本郷新記念札幌彫刻美術館	名古屋市	名古屋市美術館
			仙台市	(宮城県美術館)	京都市	京都市美術館
			さいたま市	うらわ美術館、さいたま市大宮盆栽美術館	大阪市	大阪市立近代美術館(仮称)心斎橋展示室
			千葉市	千葉市美術館	神戸市	神戸市立小磯記念美術館、神戸ゆかりの美術館
			川崎市	川崎市岡本太郎美術館、川崎市市民ミュージアム	岡山市	岡山市立オリент美術館
			横浜市	横浜美術館	広島市	広島市現代美術館
			相模原市	相模原市民ギャラリー	北九州市	北九州市立美術館
			新潟市	新潟市美術館	福岡市	福岡市美術館、福岡アジア美術館
			静岡市	静岡市美術館、静岡市東海道広重美術館	熊本市	熊本市現代美術館
					【国等の基準との比較】	
		【必要に応じて近隣市の状況をご記入ください】				

担い手の点検	22	①民間実施の可能性	(具体的内容、ない理由)
		<input checked="" type="checkbox"/> 既に民間実施・委託を導入している <input type="checkbox"/> 民間実施・委託を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 民間実施・委託を検討すべき業務がない	展覧会実施にあたり、会場設営・撤去、会場監視、作品運搬等の業務を民間委託等している。
		②国・府・広域連携との可能性	(具体的内容、ない理由)
		<input checked="" type="checkbox"/> 既に国・府・広域連携を実施している <input type="checkbox"/> 国・府・広域連携を検討すべき業務がある <input type="checkbox"/> 国・府・広域連携を検討すべき業務がない	展覧会の充実を図るため、大阪市等の近隣都市の公立美術館と、所蔵品の相互貸し借りや学芸員間の交流などを行っている。
		③市民協働との可能性	(具体的内容、ない理由)
		<input type="checkbox"/> 既に市民協働を実施している <input checked="" type="checkbox"/> 市民協働の可能性はある <input type="checkbox"/> 市民協働の可能性はない	来場者アンケートにより把握した市民ニーズを踏まえ、講演会・ワークショップの開催など、「参加型」プログラムの充実等を図ることは可能である。
		④外郭団体で実施する必要性(外郭団体関連事業の場合)	

平成24年度 事務事業総点検シート(4)

事務事業名	所蔵美術作品展							
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化	課	作成担当者	四方

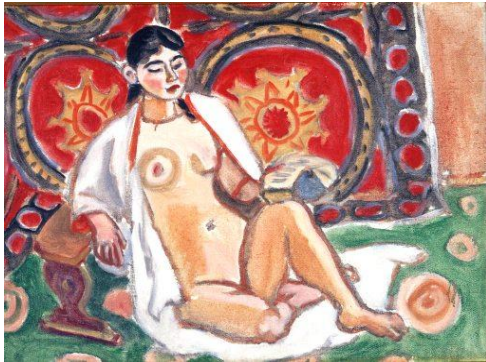
23	今後の方向性	総点検に基づく方向性(所管課)																											
		事業の方向性	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">拡充</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">/</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">/</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>廃止</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td></td> <td style="text-align: center;">/</td> <td style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">ゼロ</td> <td style="text-align: center;">縮小</td> <td style="text-align: center;">現状維持</td> <td style="text-align: center;">拡大</td> </tr> </table>	拡充	/	○	/	/	現状維持	/		/	/	縮小	/		/	/	廃止	/		/	/		ゼロ	縮小	現状維持	拡大	
拡充	/	○	/	/																									
現状維持	/		/	/																									
縮小	/		/	/																									
廃止	/		/	/																									
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大																									
公金投入の方向性(人件費含む)																													
24	改善の方向性(Action)	現状の課題																											
		<ul style="list-style-type: none"> ・来場者数が増加傾向にあるものの、所蔵美術作品や展覧会に対する市民の認知度を高める必要がある。 ・所蔵美術作品の鑑賞機会の拡充を図るため、積極的な公開・活用方を検討する必要がある。 																											
		今後の改善策																											
		<ul style="list-style-type: none"> ・所蔵美術作品の魅力を生かし、展覧会に対する市民の認知度を高めるため、出前講座の開催など作家や作品を積極的に紹介したり、鑑賞機会を増やすことを検討する。 ・展覧会開催期間中、ワークショップや講演会を開催するなど、参加型プログラムの充実を図り、リピーターや来館者の確保を図る。 ・市のホームページを活用した展覧会のPRや、インターネット上での主な所蔵美術作品の公開などを検討する。 ・所蔵美術作品の鑑賞機会の拡充を図るため、公立美術館等との相互貸出により、一層の活用と普及を図っていく。 																											
コスト削減が見込まれる場合はその内訳を記入して下さい																													
外郭団体関連事業の場合は団体としての事業の方向性に対する考え方を記入して下さい																													

所蔵美術作品 概要

(平成 24 年 6 月 1 日 現在)

作品概要	① 堺を中心とする関西圏における近現代作家の作品 ② 近現代の美術、工芸、デザインの主要な潮流を展望できる内外の作品 ③ 上記の美術に関する資料
作品の構成	<p>○ 621 件 (購入 259 件、寄贈 362 件)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-right: 20px;"> 所蔵美術作品 621 件 </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;">日本画 51 件</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;">洋画 193 件</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;">版画 245 件</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;">工芸 103 件</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;">その他 29 件</div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>(主な堺ゆかりの作家)</p> <p>有岡 一郎 17 件、二代前田 竹房齋 82 件、川原 章二 22 件、高岡 徳太郎 34 件、泉 茂 120 件、保田 龍門 19 件、松岡 政信 22 件、島 成園 3 件、福岡 道雄 5 件、山本 容子 37 件</p> </div>

【主な作品】



梅原 龍三郎 《裸婦ボカラ図》
1926 油彩・キャンバス



島 成園 《美人十二ヶ月 1月 追い羽根》
1920 頃 絹本着色



福岡 道雄 《ピンクバルーン》
1966～68 (94 年再生型) F. R. P. ロープ



香月 泰男 《シベリア・シリーズ 避難民》
1969 リトグラフ

所蔵美術作品展開催実績(第1回～第13回)

資料 ②

回	副題	展示作品	会 期	場 所	入場者数	備 考
		分野・総数				
第1回 (H11 年度)	堺市流美術工芸の楽しみ方	日本画・竹芸・陶芸・洋画・ 彫刻 74件	平成 11 年 9 月 9 日～ 平成 11 年 9 月 23 日	博物館	1,931 人	市制施行 110 周年記念
第2回 (H12 年度)	版画物語 —堺ゆかりの作家を中心として—	版画・陶磁器・染織 74件	平成 12 年 11 月 23 日～ 平成 12 年 12 月 10 日	文化館	1,061 人	トークイベント 作家(11/26、12/3) 学芸員 (12/10)
第3回 (H13 年度)	珠玉の名品	洋画・陶芸・彫刻・版画 53件	平成 14 年 1 月 19 日～ 平成 14 年 1 月 30 日	文化館	1,086 人	
第4回 (H14 年度)	和の粋 —伝統美術工芸の世界—	日本画・竹芸・陶芸・彫刻 44件	平成 14 年 12 月 20 日～ 平成 15 年 1 月 13 日	文化館	901 人	
第5回 (H15 年度)	堺の洋画 —挑戦と展開—	洋画 35件	平成 15 年 12 月 6 日～ 平成 15 年 12 月 28 日	文化館	1,098 人	
第6回 (H16 年度)	保田龍門と堺ゆかりの作家たち	洋画・版画・彫刻 38件	平成 16 年 12 月 4 日～ 平成 16 年 12 月 26 日	文化館	1,101 人	
第7回 (H17 年度)	人間国宝 二代前田竹房斎	竹芸 73件	平成 17 年 12 月 3 日～ 平成 17 年 12 月 25 日	博物館	1,754 人	博物館共催 図録作製頒布 講演会開催
第8回 (H18 年度)	現代日本画の美 —松岡政信・鍵谷節子—	日本画 19件	平成 18 年 12 月 1 日～ 平成 18 年 12 月 24 日	文化館	1,154 人	
第9回 (H19 年度)	福岡道雄《現代彫刻》と 中辻悦子《ひとのかたち—平面と立体》	洋画・彫刻 17件	平成 19 年 12 月 14 日～ 平成 20 年 1 月 14 日	文化館	454 人	
第 10 回 (H20 年度)	堺の名品	洋画・日本画・版画・彫刻他 74件	平成 20 年 8 月 1 日～ 平成 20 年 8 月 24 日	文化館	1,003 人	小学生を対象にしたワークショップの開催 (8/1 油彩画、8/9 彫刻、8/10 日本画)
第 11 回 (H21 年度)	島成園没後 40 周年記念 島成園と堺の日本画家—美人画・花鳥画の粋—	日本画 72件	平成 22 年 2 月 26 日～ 平成 22 年 3 月 22 日	文化館	1,850 人	講演会「堺の女性芸術家・島成園の軌跡」 (3/7)、学芸員展示解説(3/13、3/20)
第 12 回 (H22 年度)	日本のアール・ヌーヴォー —版画、ポスター、挿絵を中心に—	版画・日本画・洋画他 137件	平成 23 年 2 月 19 日～ 平成 23 年 3 月 15 日	文化館	2,336 人	講演会「大阪画壇とアール・ヌーヴォー —北野恒富と島成園の周辺—」(3/5)、 学芸員展示解説(3/12)
第 13 回 (H23 年度)	晶子さんを想う —安井寿磨子 版画展—	版画・洋画他 158件	平成 24 年 2 月 11 日～ 平成 24 年 3 月 11 日	文化館	3,355 人	作者による作品解説(2/11) 講演会「晶子さんと花たちのお話」(2/19) 学芸員展示解説(2/25、3/3) 「安井寿磨子のはがきに描くパステル画」 (3/11)

平成 23 年度 所蔵美術作品展実績

1 展覧会名	晶子さんを想う ―安井寿磨子 版画展―
2 開催期間	平成 24 年 2 月 11 日(土)～3 月 11 日(日)
3 会 場	堺市立文化館ギャラリー (J R 阪和線 堺市駅前)
4 来場者数	3,355 人 (うち堺在住 46.0%、大阪府内 (堺市除く) 39.6%)
5 入館料	無料
6 後 援	堺市教育委員会、大阪府、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、 (公財) 堺市文化振興財団、堺美術協会
7 協 賛	南海電気鉄道(株)、大阪府都市開発(株) (泉北高速鉄道)、 阪堺電気軌道(株)
8 講演会等	○作者による作品解説 (2 月 11 日) ○講演会「晶子さんと花たちのお話」(2 月 19 日) ○学芸員展示解説 (2 月 25 日、3 月 3 日) ○「安井寿磨子のはがきに描くパステル画」(3 月 11 日)
9 広 報	広報さかい、堺市ホームページ、報道資料提供、各美術館・ 市内公共施設等へのポスター・チラシの発送、鉄道駅 (J R、 南海電鉄、阪堺電車、阪急電車、阪神電車) へのポスターの 提出に加え、J R が発行する月刊情報誌への掲載やネット配 信など、広報活動を積極的に展開した。

(新聞)

産経新聞(堺泉北) 2月8日朝刊「晶子の優しさ 銅版画に」
産経新聞(大阪) 2月8日朝刊「晶子への想い 銅版画に」
産経新聞(堺泉北) 2月12日朝刊「晶子への想い込めた版画展」
朝日新聞 2月15日夕刊「安井寿磨子さん 30年の『仕事』」
朝日新聞 3月7日夕刊「安井寿磨子版画展 晶子さんを想う」
読売新聞 2月16日夕刊「晶子さんを想う 安井寿磨子版画展」
岩手日報 2月25日朝刊「没後70年の晶子を思う」
宮崎日日新聞 2月29日朝刊「没後70年 晶子を想う」
山形新聞 3月3日朝刊「与謝野晶子没後70年 短歌モチーフに版画」

(情報誌)

- JR電車&ウォーク 2月号・3月号、JR「旅こよみ」2月号・3月号、南海電車 NATTS「第13回堺市所蔵美術作品展」
- 南海電車『P+natts』2月号
「人気版画家が与謝野晶子の世界を表現」

(雑誌等)

- ホットペッパー(堺) 2月号「堺市所蔵美術作品展」
- CITY LIFE 2月号「Sakai Art Exhibition」

(ネット等)

- 関西元気文化圏2月、Yahoo Japan 2月、じゃらんNet 2月
- NHK 関西おでかけガイド(2月11日~3月11日)
「晶子さんを想うー安井寿磨子 版画展」
ケーブルテレビ「堺シティレポ」(2月18日~2月24日)
「堺市所蔵美術作品展」

11 アンケート調査

来観者に対し、受付でアンケート調査を実施。

- ①アンケート回収率 10.3% 回答者 346人(来観者 3,355人)
- ②アンケート結果 よかった91.6%、ふつう2.6%